

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和元年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区(1/7)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
関西イノベーション国際戦略総合特区 (京都府、大阪府、兵庫県、京都市、大阪市、神戸市)	4.6	<p>4.7</p> <p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・承認審査段階(中間)における効果 137% ・製品化・実用化(出口)における効果 126% ・特区支援制度活用によるイノベーション拠点におけるプロジェクト件数 111% 	<p>4.5</p> <p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備 等 <p><u>財政支援等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合特区設備等投資促進税制 ・総合特区支援利子補給金 等 <p><u>地域独自の取組</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代地域産業推進事業 等 	4.5	<ul style="list-style-type: none"> ・規制の緩和、財政支援、税制支援、金融支援を活用するとともに、地域独自の取組を組み合わせることで成果をあげている。 ・医療事業のプラットフォームの活用や、バリューチェーンの形成、PMDA出張所設置の事業推進について客観的に評価する指標の検討を期待。 ・グリーンイノベーションのスマートメータ、水素、電気自動車については着実に達成されていることも評価される。